

声かけの実践 認知症になっても安心して暮らせる町

～天満町を目指して～(天満町認知症SOS模擬訓練)

R7.3.9(日) 13:00～15:00 天満町公民館

民生委員より
認知症の相談が増加



・認知症本人や家族への
対応方法に悩む
・家族が拒否すると介入しにくい

自治会長へ相談



天満町は各種団体が活発
天寿会に入って認知症の話をして
みるのはどうか？



まずは、老人クラブ天寿会に健康教育に入り、
認知症について少しずつ学習を重ねていきました。

【1回目】

認知症のイメージ

- ・物忘れがひどくなる
- ・同じことを何回も言う
- ・出来ていたことが出来なくなる
- ・ちんぷんかんぷん

認知症の事を
少しずつ勉強して
いきたい



【2回目】

認知症の症状・段階について聞きたい



認知症って
脳の病気？

どこからが
認知症な
のか？

【3回目】

認知症の予防について聞きたい



【4回目】

認知症の人への声かけや対応方法を知りたい
認知症になっても安心して暮らせる町になりたい
自分が認知症になった時に安心できる町になりたい



【5回開催】

回を重ねるごとに
認知症に対する関心は
高まっていきました

地域で認知症の人や家族が困っていることがあれば、声をかけられるようになりたい

令和7年3月9日(日)

声かけの実践(天満町認知症SOS模擬訓練)を開催しました。

声かけの実践(天満町認知症SOS模擬訓練)～当日の様子～

主催 天満町自治会

共催 天寿会
女性の会
大昭会

天満町民生委員

日時 令和7年3月9日(日)13時～15時

場所 天満町公民館

参加者 45名(内住民37名)

関係機関 キャラバン・メイト
特別養護老人ホームしろみ
諫早駅前交番

内容 声かけ編:認知症の人を見つけたら、声をかける



<自治会長挨拶>

これから先の対応や、どうい声掛けをすればいいの勉強したいと思う。

【声かけの様子】



家はどこやったかな?

◀家に帰ろうとして道に迷い公民館周辺をウロウロしている人に対する声かけ



一緒に帰りましょう

いくら?これでお願い

お弁当の支払い時に、財布は小銭でいっぱい。
小銭を出すのが難しく、お札で払おうとする方への声かけ ▶



100円4枚出せますか?
お手伝いしていいですか?

【声かけをやってみて】

頭でわかってるつもりでも、
実際に声かけしてみると
難しいと感じる

もっと地域に認知症の
理解を広げていきたい

相手に合わせる事の難しさ等
理解出来た



また模擬訓練をしたい!

このような訓練を続けていきたい!

<中央部包括より>

天満町で天寿会に認知症の学習を少しずつおこなっていき、回を重ねるごとに、皆さんの認知症に対する考えが変わっていきました。「家族が認知症だった」とご自身の介護体験を話されたり、「自分が認知症になった時に安心して暮らせる町になりたい」という声も聞かれ、町での認知症に対する意識が変わってきたように感じました。

今後は、天寿会だけではなく、女性の会や大昭会にも、認知症の普及啓発をすすめていき、町内へ認知症の理解を広げていきたいと考えています。